

2022 年度 立正大学データサイエンスセンター プロジェクト成果報告書

1. プロジェクト名称 IR プロジェクト

2. プロジェクト期間 2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

3. プロジェクトリーダー

氏名	DSC 内職位
渡辺美智子	研究員

4. プロジェクトメンバー

氏名	DSC 内職位	氏名	DSC 内職位
別紙にメンバーリストを添付	選択してください		選択してください
	選択してください		選択してください
	選択してください		選択してください

5. 成果の概要

当該年度に実施したプロジェクトの成果について、その具体的内容、意義、重要性等をできるだけ分かりやすく記述して下さい。

大学における IR (Institutional Research) とは、学内に蓄積されている様々なデータや情報を収集・分析し、大学教育、学生支援、研究活動等の改善や評価に活用する活動である。本プロジェクトでは、特にデータサイエンスの手法を用いた分析を行うことによって、これまでにない新たな視点から大学運営や教育・研究の改善に資する考察や施策を提言し、学内および社会に向けて情報発信を行う。

高度な IR を実践するためには、大学教育や大学運営に関する専門知識に加えて、データ分析に関する高度な技術が必要である。そこで本プロジェクトでは、データサイエンスの専門家を含む教員と各分野の職員の協力体制のもとで活動を進めている。

IR プロジェクトは、「データベース整備グループ」「入試分析グループ」「学修・生活分析グループ」という 3 つのグループから成り立っている。

2022 年度は大学としての認証評価の受審年にあたり、IR の主たる事務局である総合経営企画課および同課担当者の活動に制限がかかったことから、プロジェクト全体としての活動はできず、研究員個人単位での活動に留まった。また、そのことにより、当初予定していた予算の執行は行われなかった。

なお、2022 年度中に IR 推進用の端末を情報システム課の支援の下で設置・導入（購入は 2021 年度中）した。

また、学長室および総合経営企画課に所属する研究補助者において、入試担当副学長よりデータ提供および分析依頼を受けて志願者数の将来予測に関するレポートを作成し、役員会において報告を行った。

6. 成果発表

当該年度に発表したプロジェクトの成果（雑誌論文、書籍、学会発表、講演会、研究会、その他）について、その内容を箇条書きで記載して下さい。

- 2023年3月15日開催の役員会に、本プロジェクトに所属する研究補助者が作成した志願者数の将来予測に関するレポートが提出された。

この成果報告書に記載の内容については、ホームページ等で公開いたします。
成果を公開できない事情がある場合には、その理由を記述して下さい。

※研究成果を公開できない理由